

保護者様

千葉市立稲浜小学校長
校長 平川 紀子

令和4年度 学校評価アンケート結果のご報告

保護者の皆様には、ご多用の中、学校評価アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。結果につきましては、今後の学校運営の参考とさせていただきます。なお、回答数は183(児童数205)で、回答率89.3%でした。

	児童	保護者	教職員
1 学習内容を理解している	3.6	3.4	3.4
2 話す・聞く力が身についている	3.6	3.2	3.3
3 学習への心構え、準備ができている	3.5	3.3	3.3
4 学校は、体験活動を重視し表現力を伸ばそうとしている	3.5	3.2	3.5
5 家庭学習に積極的に取り組んでいる	3.2	2.9	3.3
6 ICT機器を活用したり、プログラミング教育に積極的に取り組んだりしている	3.6	2.8	3.2
7 家族や友達、地域の方などにきちんと挨拶をしている	3.6	3.2	2.9
8 ルールや決まりを守り、規律正しく生活している	3.8	3.4	3.5
9 学校行事や児童の活動において児童の主体性を大事にしている	3.7	3.3	3.5
10 いじめや問題行動に対して、迅速に対応し解決しようとしている	3.6	3.3	3.7
11 教育相談を充実させ、児童の悩みを解決しようとしている	3.2	3.1	3.6
12 積極的に運動に取り組んでいる	3.4	3.3	3.1
13 学校は、児童にバランスの良い運動体験をさせようと工夫している	3.4	3.0	3.2
14 食材に興味を持ったり栄養を考えて食事をしようとしたりしている	3.4	2.9	3.1
15 健康について関心を持ち、自ら健康保持に努めようとしている	3.6	2.9	3.0
16 各種お便りやHP等によって教育活動を積極的に発信している	3.3	3.3	3.6
17 必要に応じて連絡帳や電話連絡などで、家庭と連携がとれている	3.6	3.3	3.7
平均	3.5	3.2	3.3

学習に関して、児童評価は各項目若干の向上が見られ、概ね良好と捉えられます。教職員評価は「話す・聞く力」(2.9→3.3)「学習の準備」(2.9→3.3)に関して改善が見られました。校内での研究教科である国語を中心に、「話す・聞く力」の更なる定着を図ってまいります。一方、保護者評価は「家庭学習への取り組み」(2.9→2.9)「ICT機器の活用」(3.3→2.8)に関して低い評価となっています。自主学習を含め学び方を意識できるよう授業改善に努め、進んで学習ができる児童の育成(よく学び)を目指していきます。一人1台タブレットにつきましても、日常的な使用の充実を図るとともに、プログラミング教育への取組を進めてまいります。

徳育に関しては、概ね良好と捉えています。教職員による評価が低かった「礼儀・挨拶」(2.5→2.8→2.9)については、若干の評価改善はみられるものの引き続き評価が低い結果となりました。

「自分から、大きな声で、相手の目を見て」を大切にしながら今後もそのような挨拶ができる子どもを育てることを目指して継続指導してまいります。

運動や体に関しては、昨年度に比べ評価の低下がみられた項目が複数ありました。「バランスの良い運動体験への工夫」では、ギガタブの使用が常態化し運動の機会が減ったこと等休み時間も含め、コロナウイルス感染症対策のためここ数年取り組むことができなかった「〇〇週間」を設定し全校で活動するなど、児童が体を動かす機会、環境を整えるよう計画的に進めていく必要があります。「食生活、病気の予防」については、家庭科や主任栄養士による食育授業、養護教諭による健康授業など教員の専門性を生かしながら子どもたちの意識をより高めていく取り組みを定期的に取り入れいけるよう、教育課程内での位置づけを明確にし、確実に取り組んでいく必要があります。

これからも保護者の皆様との連携を大切しながら、子どもたちがのびのびと、生き生きと学ぶことができるより良い学校になるよう全教職員で取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。